

平成30年11月22日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 加藤 啓子 様

議会報告会 3班
班長 西川 誠之
菅野 浩考
石原 修治
海老原 功一
森 亮二
植田 和子
野村 誠

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成30年11月10日（土）
午後2時～午後4時
- 2 場所 南流山センター ホール
- 3 欠席議員 無
- 4 来場者数 市民来場者 15人
議員・職員 2人
- 5 報告内容
①南部地区の諸課題について・平成29年度決算について
②フリーディスカッション

6 意見交換内容

市民：年間50世帯規模で人口が増えている木地区の交通対策が不足している。市に移管されていない道路には横断歩道がなかったりする。また、六和クリーンセンターの解体工事車両の経路も木のエリアに入っているため、交通問題にしっかり取り組んでいただきたい。

特に、接続道路のゾーン30は積極的に推進してほしい。さらに、南流山と新松戸に暴走族の軍団ができたと聞いているので、治安も含めて対策をしっかりやってほしい。

議員：六和クリーンセンターについては、来年3月一杯で解体工事が終了する。工事車両が入ってくる周辺住民から様々な要望を聞き、一般質問でも2回にわたって、松戸市から丁寧な説明をするように要望してきました。

ゾーン30は3年前に南流山7、8丁目で初めてで、15～20年かけてやっとゾーン30になりました。出来上がった当初は、交通量も事故も減ったが、2～3年経つとされるのか、交通量が最初の頃に戻りつつあります。という課題も聞いています。

ぐりーんバスは、南流山・木ルートが1年前に開通しました。木地区にマンションが増えて利用者も増え、1日平均670人、収支率73%、東深井ルートに次いで黒字ルートになり、来年4月には、南流山8丁目まで、延伸する予定です。詳しくは12月16日に住民説明会があります。

議員：ゾーン30については、鱈ヶ崎地区でも地域それぞれの諸課題があり、意見が割れています。

市民：土地区画整理事業の特別会計について、平成28年度より平成29年度の方が予算が減っているが、たまたま減ったのか。平成30年度はどれくらいになるのか。

鱈ヶ崎は周りに公園が出来ないし、道路は開通しないし、

いったい、いつ終わるのか。

また、南部地区は高齢者が多く、医療体制に困っている。認知症的な方も多い。市でも講習会を開いたりしているが、現実的には地域のふれあい、地域支え合いがほとんど進んでいない。市で色々やっているのはわかるが一向に進んでいない。

議員：区画整理については、多くの方から意見を聞いている。大枠は大体終わったが、目に見えてはまだ終わっていません。三本松の陸橋も出来たが、その下の鱈ヶ崎駅方面に向かう細い道路はまだ整備不十分です。3.3.2号線のレストランがあった場所に陸橋をかける説明会は実施された。公園整備の遅れは、地域の地主さんとの話し合いの中で進めているためです。あともう少しというところですが、地域の方の要望がまだ反映されていないため、県の事業だが、市で出来るものはしっかりと整備していくよう要望していきます。

認知症対策については、社会福祉協議会と連携して進めていかなければいけないと思っています。

議員：平成28年度から平成29年度にかけて8億円減額になっている理由は、事業がほとんど終わっている地区も出てきているためです。区画整理した土地がすでに売れて、事業自体が残りわずかになってきていることから減額となりました。平成30年度も平成29年度とさほど変わらない予算額で事業が進められています。

議員：市では、高齢者ごみ出し支援事業ということをやっています。ニーズも増えて利用者も増えている。ご自身の自治会でも対象者がいたら、ケアマネージャーに相談のしてもらおうなど、自治会として申請する形態もとれると思います。

市民：私の会社は北柏にあり、柏市と流山市の公園のトイレの数に違いを感じている。流山市の例をあげると、大堀川の公園は広大な敷地の中にトイレが1つしかないのが大変である。既存の公園にはトイレがない所が多い。新しい公園にはトイレを設置しているようだが、今後、公衆トイレを増設する計画はあるのかお聞きしたい。

議員：私は北部地区ですが、北部地区だけでなく、市民の方から公園にトイレがほしいとの要望は沢山聞いています。我が党は市民と一緒にトイレの改修等を求めたり、増設の要望を出しています。執行部は、新しい公園にはトイレを造るけれども、既存の公園にはトイレは造らない方針をかえないとのことですが、諦めずに私たちは言い続けています。今回、トイレ増設の要望がありましたので、持ち帰り執行部へ要望していきます。

議員：トイレの増設についてのご質問だと思いますが、流山市の方針としては、近隣公園以上の規模の公園には基本的にトイレを造る予定ですが、それ以下の規模の公園には、防犯とか維持管理費等を考えると非常にきびしいとの考えであり、流山市はどんどんトイレを増設していくというのは、きびしい状況であると思います。ただし、市民の方からまとめて要望が出てくれば、当然、市としても考えなければならぬということもあるので、地域の声としてどんどん挙げていくべきだと思います。

議員：流山市には、現在、公園が300箇所ぐらいあります。トイレに関しましては、維持管理費や防犯問題等、増設に対しての課題もあります。4、5か月前の流山市の広報の1面でも取り上げた、トイレ特集というものがあって、流山市としては、市民トイレ制度というものを取り入れました。街中にあるコンビニ等に入って無料でトイレが使用できます。現在は、おたかの森周辺ではあります

が、市としては、今後、普及していく方針です。

市民：木地区で次々と公園がつくられています。大きな公園としては南流山中学校のところがあり、今年も1カ所公園ができて、来年にも更に1カ所公園ができる予定です。先程、近隣公園以上との説明がありましたが、それはどれくらいの規模なのでしょう。

議員：近隣公園は2万㎡規模の公園です。南流山中学校のところにある公園は9,200㎡位だったと思います。こちらの公園はお子様連れの方が多く、先日、都市計画課に確認したところ、こちらの公園では地域の方々からのトイレ設置の要望はでていないと聞いています。先程、お伝えしましたが、地域の方々からトイレ設置の要望を出されるべきと思います。

※訂正とお詫び※

近隣公園の規模について、答弁で1万㎡とお答えしましたが2万㎡でした。訂正し深くお詫び申し上げます。

市民：流山市は、特に大きな課題はないと思うが、開発により今後も人が増えていくと思うが、引き続き治安が良く住みやすい街にしてください。そこで質問ですが、私の子どもが来年から小学校に上がるのですが、流山市の学力は、他に比べてどのような位置にいるのか。学力に関してどのような取り組みをしているのかお聞きしたい。

議員：図書館の要望は、南流山地区は子育て世代が多く、図書館の老朽化や児童館がほしいとの話を聞きます。

南流山小学校は今年、校舎をグラウンドに増設して校庭が狭くなり、グラウンドを広げました。本来、そこに地域交流センターを増設する予定でしたが変更となり、小学校の近くにできる予定です。地域交流センターができれば、図書館の機能や児童館が入る予定です。

議員：私が記憶する中では、千葉県内で小中学校共に、上位3～5位の間に入っているとの報告があります。流山市は英語教育にはかなり力を入れています。ALT体制や英語指導補助員等の体制はしっかりと出来上がっています。議員：学校現場で取り組んでいることといえば、南流山の方面でしたら、小学校と中学校が隣接していますので、小中連携しています。一貫校ではありませんが連携して、切れ目のないお子様の成長教育を促しており充実しています。また、パソコン、インターネット環境も充実しています。今後、国の方針でプログラミング教育が教育現場に入ってきます。

議員：全国的にいじめ問題もありまして、来年度予算にストップイットというアプリが導入されることになりました。SNSでいじめが盛んになっており、アプリを使って体験したり、学校なり、アプリと連携している保護者と携帯で通報・連絡ができるようになります。

市民：質問というか、様子を聞かせてほしいのですが、私の甥っ子が松戸の観光課にいまして、オリンピックで、ドミニカ共和国を受け入れます。流山市はオランダとのことですが、流山市の議員の方々は、オリンピックにどう関わっているのか、お聞かせください。

議員：たとえばオリンピックの前にデモンストレーションという競技をやるのですが、流山市発祥のヘルスバレーを取り入れる一般質問をしたり、仕掛けを市に提案することを、主にやっていると思います。また、市の提案に対して協力し合ったり、市議会議員が提案したものに対して、予算権を持っているのは市長でありまして、「うん」と言われない限りは実行できない苦しい面はあります。

議員：私はもともとバレーボールを中学からやっていました。流山に来て子どもたちがサッカーをやるようになり、サッカークラブの会長をやっていました。それで、オリンピックのボランティアヘルパー、通訳も含めて申し込みをしています。9月23日から5日間、オランダの女子バレーボールチームが合宿をしましたので、応援、お手伝いをしました。今後も手助け、ヘルプができるよう考えていきます。

議員：現状、議員が関わっている部分は今のところないというのが現状です。今後できる事といたら、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、どういう姿勢で流山市はやっていくのか、私自身も考えながらまた、市民の方々の意見も聞きながら、どのような方向性で成功させるのかをしっかりと考え、行政に訴えていき実行していくのかだと思います。

議員：我々市議会議員としては、オリンピックには関わっておりません。ただし、オランダということで誘致をして、まだ、どの競技が来てどのようになるのか決まっていますが、おそらく前回来たバレーがくるだろうと思います。私の会派では、先月北海道に視察に行きました。道内や関東エリアから来て合宿をやっている街であります。

その体育館は流山市のキッコーマンアリーナと同じくらいの立派な体育館ですが、色々な誘致をするにあたって、特に外国人等は、トイレを造ってくれ、ベットを大きくしてくれ等、色々な条件が出てくるそうです。

先日、市長と話す機会があり、流山市に当てはめた場合、最終的には流山市はどれくらいの負担がかかるのかと聞きましたら、「負担はかからない」との答弁がありました。最終的には国からいくらもらったから、ということがあるのでしょうが、まだ、相手国と話をしていないので、もう少し待ってください。とのことでした。これから先、オラ

ンダ大使館に行って、またはっきりしたら皆さんにお伝えできると思います。

議員：私は1964年、東京オリンピックの年に生まれました。私が一番大切だと思っていることは、パラリンピックの選手団だったとしたら、情報のバリアフリー化、環境のバリアフリー化がすごく大事なことだと思っています。そういった部分で取り組んでいければと思っています。

議員：オリンピックの当初の目的は、東日本大震災の復興目的があって、この地域でも我孫子市が液状化で苦労したり、私たちもホットスポットと放射能で苦労したこともあります。近隣市6市合わせて、聖火ランナーのコースを誘致できないかと、近隣市と連携しましたが、その後、報告がなく難しいのかなという雰囲気はあります。2020年に向けて、私たちも引き続きできること、やれることがあったら、皆さんと共に考えていきたいと思っています。

7 参加者から議会への要望

「要望1」木地区の横断歩道の設置場所については自治会からも要望を出しているが、特に江戸川寄りの区域に横断歩道が全くない。住民も疑問を持っているから対応していただきたい。

「要望2」南流山中学校のところにある公園は、近くにコンビニ等の店舗がなく、防災の集合場所になっているので、是非トイレを設置してほしい。

「要望3」流山市に20年住んでおり、江戸川台に15年、その後、一軒家を構えて現在、南流山に住んでいます。北部に住んでいる時は、森の図書館やプール等があり利便性が良かったが、南流山は人口が多いわりに大きな公共施設がないので、難しいとは思いますがほしい。

8 所感

「西川 誠之」

今回の議会報告会は、市民15名の参加を得て、南部地域の諸課題と平成29年度の決算報告を中心に活発な意見交換を交えて、時間一杯話し合い、報告が出来たと感じた。南部地域の諸課題を上げたが、子育て世代(30～40代4名)からは、公園でのトイレ問題や子育て環境について南部地域を充実した地域にしてほしいなど、切実なテーマの意見があった。高齢者(参加者15名中60歳以上が8名)からは、緑環境の減りつつある状況を改善してほしい、決算については他市比較などを準備してほしいなどの要望があり、他地区での報告会でも同じ状況と理解した。

松戸市との市境の道路改修の件は、大きな課題とはならなかったが、今後のテーマであろう。

本年10月に行われた「2018女子バレーボール世界選手権」の開催に先駆け、オランダチームの合宿練習が本市で行われ、中学女子選手たちへの指導が実現し、その延長線上に、日本での2020オリ・パラ開催時に、オランダチームなどの本市での何らかの活動が期待出来ればありがたいと実感した。自分自身も機会があれば、ボランティアとして通訳他、雑用でもお手伝いできればと期待している。

「野村 誠」

今回の議会報告会では、「南部地区の諸課題について・平成29年度決算にについて・フリーディスカッション」のテーマについておこなったこともあり、南部地区の要望、ご意見が多かったが、市内のトイレ設置の要望や、高齢者ふれあいの家や地域支え合い活動などの高齢化の問題、オリ・パラへの取り組みなど幅広い意見交換ができたと思います。今後は、いただいた意見、要望等は委員会でもどのように取り組んだのかを発表することも必要であると思

ました。会場に関しては、大ホールでは広すぎるため、50人程度収容の会議室を借りた方が良いと思います。

「植田 和子」

このメンバーでは最後となる議会報告会で、それも最後の会場が大ホールとなってしまい、正直どうなることやら、不安でした。しかし、そんな不安は全く必要ありませんでした。市民の方からの様々なご意見、ご要望は、南部地区に限らず、どの地区でも共通する内容のものばかりで、うちの会派で取り組んできた内容は、やはり市民要望からずれていなかったと、あらためて再確認できました。自信をもって、これからも取り組んでいきます。とても有意義な意見交換の時間でした。

「森 亮二」

現代世代（40～50代）の男性参加者が多いことが特徴的でした。そのような方から「流山市における教育の取り組み（特徴的なカリキュラム）」のご質問があったことは、議会報告会がその方にとっても重要な位置付けに置かれているのだと確認できる機会にもなりました。と言うのも、自らの経験から踏まえても現役世代の方々は、新聞情報などマスメディアから情報収集を行う傾向が強く、自ら住む街における行政情報への関心はあまり高いものとは言えません。そのようなことからすると、議会報告会は行政・議会情報の発信機能の強化という面の充実も大切な視点になるかと思います。

「石原 修治」

今回の議会報告会は今までの報告会と少し違った感覚を受けました。初めて参加された方、自分の住んでいる地域の課題や要望、年代別の諸課題等を簡潔明瞭に提議していただき、その質問に対し議員が答える。言葉のキャッチボールがあったと感じています。アンケートを拝見しても

各お一人お一人がしっかりとコメントを記入され、非常に感謝しています。その中には、報告会の資料を事前にホームページに載せることはできないか、とのご意見もあり、検討に値するご意見であると思います。

「海老原 功一」

今後、市民の皆さんからの貴重なご意見や要望を真摯に受け止め、取り組んでいく訳ですが、今回の議会報告会の中で、私が答弁した、2020年オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしての流山市の負担については、今後、はっきりしたら皆さんにお伝えしたいと思っています。

「菅野 浩考」

今後、議会報告会後の処理について議論を交わす必要性を感じます。ただ報告会をやりっぱなしではなく、議案と同じく、本会議で「報告第〇号、議会報告会に関する報告」として公式に上げ、議案と同じで議事録に保存する。議会報告会を自分たち議会の最大の武器として、議場において執行部に説明することが重要ではないか。更なる議会報告会のあり方の議論が必要だと感じる。